

ながたに暮らし体験記

稲刈りを頑張りました！

本日（平成28年10月30日）は、雨のため1週間順延となった「花いっぱい長谷まつり part 4：稲刈り」の日です。

先週と違って汗ばむほどの秋空の中、金色に輝く豊かに実った稲穂を総勢60人くらいの人々で稲刈りを行いました。思えば柴北川を愛する会と共助研の合同行事も今年で8年目（7回目の稲刈りです。）となりました。

愛する会の皆様、西中の台小の子供たち、共助研のメンバーのチームワークもびったり、あっという間に稲架掛けが並びました。

午後のイベントは、今や恒例となった旧長谷小学校体育館での柴北川レディース様の地元の食材をメインとした豪華バイキング昼食、収穫祭にふさわしい黒松神楽様による（「柴引き」「五穀舞」）神楽の奉納、レディース様の「きよしのズンドコ節」体操など行われました。秋のゆったりと流れる時間を満喫しました。田植えから4か月間の稲の管理、長谷まつりの準備・開催、またしても愛する会の皆様に大変お世話になりました。心から感謝いたします。

付記：11月10日に、来ちみなあハウスに冷蔵庫、食器棚、本棚、生活雑貨を搬入いたします。益々快適な暮らしができるよう整えますので、積極的なご利用をお願いします。来年は本格的にDIYをしたいと考えています。（森脇 亨）



「来ちみなあハウス」の使用について

- 店子会員は、自由に使えます。
店子会員は、「共助研」メンバーで店子会費を支払った方と、「柴北川を愛する会」会員です。
現在、店子会員を募集中です。入会希望の方は店子グループ「管理人」までご連絡ください。
- 一時使用も可能です。
店子会員でなくても、ハウスの一時使用は可能です。
使用料は要りませんが、維持管理のための寄付をお願いしています。
- お問い合わせ等は、店子グループ「管理人」まで。
 - ・波木健一（共助研・事務局）
 - ・渡邊雪法（柴北川を愛する会・事務局長）



来ちみなあ 4号

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」（和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅）での活動を紹介する通信です。発行：「来ちみなあハウス」店子グループ

ながたに国

11月に入り、長谷もすっかり秋めいてきました。山々の紅葉はこれからですが、黒松阿蘇神社のイチョウをはじめ流域のイチョウの黄葉が始まりました。

一週間延期となった稲刈りも、絶好の収穫日和の下で賑やかに行われました。共助研の皆さん、西の台小学校の皆さんをはじめ沢山のご参加をいただきました。

今回は大分県生活環境部の職員さんのご家族が、お友達の二家族を誘って初めて参加してくださいました。また一つ新しい交流が生まれたと喜んでます。

レディースからの情報ですが、お弁当が102個売れて、自分たちの昼食がなくなり追加炊飯したそうです。

今月は11日に「愛する会」役員会、20日に「犬飼町グランドゴルフ大会」、25～26日は「共助研」さんによる「勉強会」、27日には「ながたに振興協議会」主催の「ホールインワン大会」と「大分大学吹奏楽部演奏会」と沢山の行事が組まれています。

ふるって参加し、交流を深めましょう。（赤峰映洋）



共助研からの伝言

長谷でも「田園回帰」を！ その3

東京などの大都市部から、若い世代や定年後の人びとの移住・定住を呼び込むのが「田園回帰」ですが、2008年頃から活発になったのが20～30歳代の若者世代ファミリー世代の「田園回帰」です。

これらの移住者が移住を決めた要因の一番は、「働ける仕事の有無」だと前号でも紹介しました。地元の自治体でも雇用の斡旋等しますが、実はそう簡単に雇用先が見つかったわけではないようです。

ただしこの人たちは、既に覚悟と解決手段をもって移住を検討しており、しかも一つの職場からサラリーをもらうことだけが仕事だとは考えていないようで、例えば、アルバイト的な複数の仕事を寄せ集めて稼ぐという「多業・兼業」スタイルの人も多いようです。

長谷の皆さんにも、農業をしながら他の職業も持っているという「兼業」スタイルの方が多くおられると思いますが、「田園回帰」の移住者はまさにそのような田園環境と関わりながら暮らしていける生活スタイルを求め、それを実現しているということです。

“長谷地区で「田園回帰」の移住者を受け入れる”、そのハードルはそれほど高くないようです。（波木健一）

地域づくりの勉強会を開催します！

11月25日（金）・26日（土）に、来ちみなあハウスで地域づくりの勉強会（共助研主催）を開催します。テーマは、「田園回帰」です。

10名強の建設コンサルタント技術者が、長谷で2日間を過ごしなが、長谷での暮らし環境の維持や移住者受け入れに向けた地域づくり・しごとづくりのアイデアを検討します。

長谷地区の方々（4名）にも参加していただき、コンサルタントと一緒にアイデアを考えます。

勉強会の中で、以下の行事はどなたでも参加していただけます。地元の皆さんの参加をお待ちしています。

11月25日（金）交流会（郷土料理を囲んで）

19:00 から 黒松生活改善センター

11月26日（土）検討成果の報告会

13:00～14:30 来ちみなあハウス

気軽に来ちみなあ・・・